

令和元年度 経営発達支援計画評価委員会 報告書

経営発達支援計画とは

小規模事業者の持続的発展を図ることを目的に、商工会議所・商工会が、小規模事業者による事業計画の作成及びその着実な実施を支援することや、地域活性化につながる展示会開催等の面的な取組みを促進するため、小規模事業者の技術の向上、新たな事業の分野の開拓その他の小規模事業者の経営の発達に特に資する支援計画を「経営発達支援計画」として経済産業大臣に申請し、認定する仕組みのことであります。

刈谷商工会議所は、平成30年3月に経済産業大臣の認定を受け、平成30年度から5ヶ年計画に基づき、主に経営指導員5名が経営発達支援事業を実施しております。

支援の対象となる小規模事業者とは

業種分類	中小企業基本法の定義
製造業その他	従業員20人以下
商業・サービス業	従業員5人以下

※刈谷市内には、「平成28年の経済センサス活動調査」によると3,305件の事業所がございます。

次ページより、令和元年度の「Ⅰ. 経営発達支援事業の内容について」「Ⅱ. 地域経済の活性化に資する取り組みについて」「Ⅲ. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組について」を報告します。

【評価基準】

- A：目標を達成することができた。(100%以上)
- B：目標を概ね達成することができた。(80%～99%)
- C：目標を半分程度しか達成することができなかった。(30%～79%)
- D：目標をほとんど達成することができなかった。(30%未満)

【評価方法】

目標数値に対する達成度を目安としてA～Dの評価を行い、「評価内容」欄にA～Dそれぞれの評価を行った評価委員の人数を記載します。また、枠外に評価委員から挙げた実施内容に関する評価、問題点・課題、改善への提言等を掲載します。

(敬称略)

評価委員			
1	委員長	刈谷商工会議所副会頭	鈴木 豊
2	委員	刈谷モノづくり大学専門家 中小企業診断士	神谷 正仁
3	委員	刈谷モノづくり大学専門家 中小企業診断士	照井 清一
4	委員	刈谷市産業環境部商工業振興課 係長	川口 泰治
5	委員	あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター 主任研究員	太田 幸伸
6	委員	日本政策金融公庫岡崎支店 国民生活事業 融資第二課長	福山 敏一
7	委員	愛知県信用保証協会 経営支援部 次長	鈴木 康司

I. 経営発達支援計画の内容

1. 地域の経済動向調査に関すること【指針③】

【事業内容】

(1) LOBO調査（※補足資料①）

商工会議所LOBO調査（早期景気観測）とは、商工会議所のネットワークのもと、地域や中小企業が「肌で感じる足元の景気感」を毎月調査するもので、刈谷市管内の経済動向を的確に把握するため、刈谷市内の5業種（製造業、建設業、卸売業、サービス業）の100企業の対象企業（うち小規模事業者50社）に対してFAXで調査依頼・回収を行った。

(2) 外部支援機関が行う経済動向調査（※補足資料②）

「中部経済産業局 管内総合経済動向調査」や「東海財務局 県内経済情勢報告」の公表資料を収集し、経営指導に役立てた。

(3) 小規模事業者経済動向調査（※補足資料③）

当所では、決算指導会に参加する小規模事業者に対して、「売上・利益など決算状況」、「小規模事業者が抱える経営課題」、「商工会議所に求める支援内容」について収集・分析をした。回答件数は161件であった。

【目標・実績・達成率】

実施内容	令和元年度			
	目標	実績	達成率	評価
LOBO調査	月1回	月1回	100%	A
外部支援機関が行う経済動向調査	年4回	年4回	100%	A
小規模事業者経済動向調査	年1回	年1回	100%	A

I. 経営発達支援計画の内容

1. 地域の経済動向調査に関すること【指針③】

【評価】

A	B	C	D
7	0	0	0

【委員のコメント】

- ・全産業における業況DIは、全国平均（△26.8%）と比較すると刈谷市は△47.2%であり、特に卸売業の悪化が気になる。
- ・短観だけでなく、直近数年間の傾向からわかることも情報提供しても良いかもしれません。
- ・公表資料を収集し、支援が特に必要と考えられる分野の事業者支援を継続的に出来ると良い。

2. 経営状況の分析に関すること【指針①】

【事業内容】

経営指導員による巡回・窓口指導を通じて、小規模事業者の経営者に対してのヒアリング等により、定量面である売上・利益の増減や定性面である経営者の現状認識について聴取する「①簡易分析」を行った。

簡易分析の結果から、問題点を有する事業者が行う改善への取組や新たな事業を行う取組など、意欲ある事業者に対して、経営指導員が小規模事業者の経営者との打合せを通じて、定量面による決算書からの財務分析や定性面によるSWOT分析の「②詳細分析」を行った。

【実施内容】

①簡易分析

支援分類	分析数
マル経融資	25
補助金申請支援 (小規模事業者持続化補助金 ※名簿①) (ものづくり補助金申請支援 ※名簿②)	20
かりやビジネス創造塾支援 ※名簿③	20
かりや商人大学 ※名簿④	17
需要動向調査支援 ※名簿⑤	5
計	87

②詳細分析

支援分類	分析数
マル経融資	25
小規模事業者持続化補助金申請支援	17
ものづくり補助金申請支援	3
計	45

【目標・実績・達成率】

実施内容		令和元年度			
		目標	実績	達成率	評価
経営指導員による 経営分析件数	簡易分析	80件	87件	108.7%	A
	詳細分析	40件	45件	112.5%	A

※詳細分析は、簡易分析の内数である。

2. 経営状況の分析に関すること【指針①】

【評価】

A	B	C	D
7	0	0	0

【委員のコメント】

・簡易分析、詳細分析の次試験数については目標以上の件数を達成しており素晴らしい。当該結果のフィードバック方法及び今後の指導のためのDB化も有益。

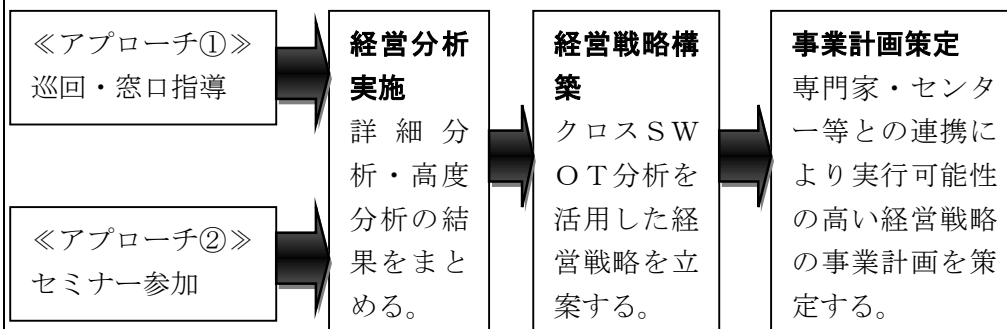
3. 事業計画策定支援に関すること【指針②】

【事業内容】

(1) 既存事業者向け支援

下記の2つのアプローチ(①巡回・窓口指導、②セミナー参加)及び“事業計画策定のフロー”に沿って、事業計画策定の支援を行った。

【事業計画策定のフロー】



①巡回・窓口指導を通じた事業計画策定支援

前述『2. 経営状況の分析に関すること【指針①】』で経営分析を実施した小規模事業者等に対し、巡回・窓口指導時に事業計画策定の必要性・重要性の説明・周知を行った。また、巡回・窓口指導を通じた事業計画策定の潜在的な需要の掘り起しも展開し、事業計画策定セミナーへの参加を促した。

②事業計画策定セミナーによる事業計画策定支援

下記の通り、事業計画策定セミナーを開催した。セミナーでは、事業計画の必要性・重要性などの説明・周知を行い、セミナー参加者には、刈谷商工会議所の事業計画策定支援の窓口として利用頂ける旨をPRし、事業計画策定への着手の実行率を高めた。

日時	セミナータイトル	講師	参加人員
R1. 11. 22	経営革新セミナー	名古屋市立大学経済学部 特任教授 近藤 邦治 氏	3名

(2) 創業者向け支援

①創業セミナーの開催

刈谷市内での創業の促進を図るため、刈谷市と愛知県信用保証協会との共催により「創業セミナー」を開催することにより、主に、創業予定者の掘り起しを図った。セミナーの内容としては、刈谷市の補助金制度の活用や、愛知県信用保証協会の創業融資制度の活用、刈谷商工会議所の「創業支援窓口」を積極的にPRし、起業意識や計画経営の重要性などを啓発し、創業予定者の今後の創業計画策定を伴走型により支援を行った。

日時	セミナータイトル	場所	参加人員
R2. 2. 1	創業支援セミナー	刈谷市産業振興センター	6名 (4名)

※ () は刈谷市内の方です。

3. 事業計画策定支援に関する こと【指針②】

【評価】

A	B	C	D
3	4	0	0

【委員のコメント】

・支援事業の評価はAですがセミナーの参加者が少ない分析する必要が有ると思います
・事業計画策定セミナー及び創業セミナー参加者数が少ないことが残念。開催時期の再検討も必要ではないか。
・セミナー参加者増のための対応が少し必要か。そもそも需要がないのか(計画が過大か)。創業予定者の掘り起しは市内で定職に就いていない可能性もありPRの方法に工夫が必要。
・本協会と共催したセミナーも参加者人数が目標を下回る結果となっています。集客アップの方策を検討する必要がありますが、その一つとしてSNSの活用を検討しています。引き続き、御商工会議所と情報交換を行っていき、参加を希望するかたが満足できるセミナーにしたいと思います。

〔目標・実績・達成率〕

(1) 既存事業者向け支援

事業計画策定事業所

支援分類	件数
マル経融資	1
小規模事業者持続化補助金申請支援	17
ものづくり補助金申請支援	3
計	21

※マル経融資の融資額1,500万円超える場合、別途事業計画書の策定が必要。

実施内容	令和元年度			
	目標	実績	達成率	評価
事業計画策定セミナーの開催数	1回	1回	100%	A
事業計画策定セミナー参加者数	10名	3名	30%	C
事業計画策定件数 (事業承継計画策定を含む)	20件	21件	105%	A

(2) 創業者向け支援

実施内容	令和元年度			
	目標	実績	達成率	評価
創業セミナーの開催数	1回	1回	100%	A
創業セミナー参加者数	10名	6名	60%	C
創業計画策定件数 ※名簿⑥	5件	4件	80%	B

4. 事業計画策定後の実施支援に関すること【指針②】

〔事業内容〕

(1) 既存事業者向けフォローアップ

事業計画の策定支援を行った経営指導員が、事業計画策定後も継続してその実施状況について、3ヶ月に1回を目安に、巡回等により、事業計画の進捗状況の確認を行い、新たに生じた経営課題や経営環境の変化に対して、適宜修正を行うことで事業計画の実効性を高めた。

支援分類	フォロー件数
マル経融資	9
小規模事業者持続化補助金申請支援	99
ものづくり補助金申請支援	10
計	118

(2) 創業者向けフォローアップ

創業計画を策定した創業予定者に対して、創業計画通りに事業を遂行できているかを確認し、計画達成に向け指導すべく3ヶ月に1回を目安に、経営指導員が巡回・窓口指導を通じて個別フォローアップを行い、経営課題に応じては専門家を帯同したり、補助金の情報提供を行うなど、伴走型で支援を実施した。

〔目標・実績・達成率〕

(1) 既存事業者向けフォローアップ

実施内容	令和元年度			
	目標	実績	達成率	評価
事業計画策定フォロー件数 ※延べ策定件数×4回	80回	118回	147.5%	A

(2) 創業者向けフォローアップ

実施内容	令和元年度			
	目標	実績	達成率	評価
創業計画策定フォロー件数 ※延べ策定件数×4回	20回	21回	105.0%	A

4. 事業計画策定後の実施支援に関すること【指針②】

〔評価〕

A	B	C	D
7	0	0	0

〔委員のコメント〕

- ・目標件数を達成しており良好と判断するが、創業者向け（創業計画策定）フォロー件数を伸ばしたい。
- ・マンパワーに限られる中、巡回以外に経営者の方から商工会議所に来るようなことはできないでしょうか。
- ・フォローアップは大変重要なので今後も継続的にきめ細やかな支援ができると良い。

5. 需要動向調査に関すること【指針③】

【事業内容】

(1) 刈谷産業まつりを活用した調査

刈谷産業まつり（11月2日（土）3日（日）開催）において、商品力・サービスの向上を図るための「アンケート調査」を実施した。

これは、企業が、実際に購買や使用をされる方の生の声や、趣味・傾向、ご意見をお聞きし、“魅力ある商品開発やサービスの向上”、需要を見据えた販売計画に活かすためのもので、募集により決まった下記の参加事業者 5社とともに、マーケットインの考えに基づき取り組んだ。



【目標・実績・達成率】

実施内容	令和元年度			
	目標	実績	達成率	評価
刈谷産業まつりを活用した調査事業所数	5件	5件	100%	A

5. 需要動向調査に関すること【指針③】

【評価】

A	B	C	D
7	0	0	0

【委員のコメント】

- ・目標事業所数を達成しており良好である。アンケート調査結果を如何にして経営改善指導に結びつけるかが今後の課題。
- ・効果実績について「調査中」となっている項目が複数あります。「商談の成立」、「売上アップ」を目的とした事業ですので、事後の定期的なモニタリングにより、進捗に応じたアドバイス等を行うことで、効果実績の向上、把握に繋げていただくとよいのではないのでしょうか。

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること【指針④】

【事業内容】

(1) メッセナゴヤ出展支援事業

メッセナゴヤは、愛知万博の理念(環境、科学技術、国際交流)を継承する事業として2006年にスタートした「異業種交流の祭典」。業種や業態の枠を超え、幅広い分野・地域からの出展を募り、出展者と来場者相互の取引拡大、情報発信、異業種交流を図る日本最大級のビジネス展示会です。

今年度のメッセナゴヤ2019は、11月6日(水)～9日(土)、1,442社・団体の出展で、62,422名の来場を得て開催された。

(2) 商談会・ビジネスマッチング事業

①地域商談会(三河・知多会場)

地域商談会(三河・知多会場)は、三河・知多地区(半田、常滑、東海、大府、刈谷、碧南、安城、西尾、岡崎、豊田、蒲郡、豊川、豊橋)の製造業を中心とした個別面談方式による受発注商談会や、受注企業相互の情報交換を目的とした交流会を(公財)あいち産業振興機構はじめ該当地区の13会議所と連携して開催するものです。

今年度の地域商談会は、2月20日、発注企業59社、受注企業109社の参加により開催された。

②アライアンス・パートナー発掘市

アライアンス・パートナー発掘市は、愛知県内の22会議所が実施する事前調整型のビジネスマッチング支援サービスのことで、中小・小規模事業者の販路開拓と認知度の向上を図るものです。

今年度のアライアンス・パートナー発掘市は、6月24日(月)～28日(金)、実施した商談件数1,238商談、エントリー企業数668社、商談に至った企業数534社という実績が得られた。

(3) かりや商人大学事業(※補足資料⑥)

かりや商人大学事業は、平成24年度より実施する事業であり、大型店にはない“親しみやすさ”と“対面でのコミュニケーション”を活かして、個店の事業主が講師となり、個店の魅力を市民向けにセミナーを開催することで、個店の集客力の向上と地域経済活性化を図る目的の事業です。

今年度には、全30講座開催し、延べ857名の市民の参加を頂いた。

(4) かりやビジネス創造塾事業

かりやビジネス創造塾とは、経営課題を持ち、価値観の変化を先取りするビジネスの強化(自社の優位性の追求)を目指す事業者に対し、企業価値そのものを磨き、新たな成長の道筋を提案する事業です。

今年度、25社の参加により実施した。

専用URL：<http://wakuwaku.kariya-cci.or.jp/>

(5) 地元新聞・地域情報誌等による広報支援(※補足資料⑦)

小規模事業者の新品・サービス等を西三河地域に周知するために、中日新聞、中部経済新聞、キャッチネットワーク、刈谷ホームニュース等を通じて、小規模事業者の特徴ある情報を提供し、報道機関の紙面への掲載を依頼した。



6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること【指針④】

【評価】

A	B	C	D
3	4	0	0

【委員のコメント】

・地域商談会、アライアンス・パートナー発掘市、広報支援参加企業数を増加させること及び内容の充実が今後の課題。

・展示会や商談会などで新たな需要を開拓することは重要。展示方法(見せ方)においても支援できると効果が上がるのでは。

〔目標・実績・達成率〕

施内容		令和元年度			
		目標	実績	達成率	評価
メッセナゴヤ	出展事業者数	5	8	160%	A
	商談成約件数	1	調査中	—	—
地域商談会	参加事業者数	10	9	90%	B
	商談成約件数	2	調査中	—	—
アライアンス・パートナー 発掘市	参加事業者数	10	8	80%	B
	商談成約件数	2	5	250%	A
かりや商人大 学	参加事業者数	25	25	100%	A
	売上アップ事業所数	5	調査中	—	—
かりやビジネ ス創造塾事業	参加事業者数	25	25	100%	A
	売上アップ事業所数	5	調査中	—	—
地元新聞・地 域情報誌広報 支援	事業者数	5	4	80%	B
	売上アップ事業所数	1	1	100%	A

※実績は刈谷市内の企業です。

II. 地域経済の活性化に資する取組

(1) 中心市街地の活性化

①中心市街地活性化事業の推進

刈谷市都心交流エリア活性化協議会ワークショップ（毎月開催）

②商店街集客イベント等による地域経済活性化と、魅力ある個店の育成 かりや商業まつり

主 催	刈谷商工会議所・刈谷市商店街連盟・刈谷市
実施内容	来店促進を図る「レシートラリー企画」
開催期間	11月16日（土）～12月31日（火）（46日間）
有効 応募件数	2,496枚
効 果	商店街集客イベント等による地域経済活性化と、魅力ある個店の育成

(2) 観光振興

①刈谷産業まつり

主 催	刈谷市（商工業振興課）・刈谷商工会議所
実施内容	出展企業による製品・商品の展示及び即売
開催時期	11月2日（土）3日（日）（2日間）
来場者数	26,000人
効 果	地域商工業者の販売機会創出と認知度向上、地域の賑わい創出

③刈谷わんさか祭り

主 催	刈谷市（文化観光課）、刈谷市観光協会
共 催	刈谷商工会議所、刈谷市商店街連盟、刈谷市レクレーション協会
開催時期	花火大会8月17日（土）11:00～21:00
来場者数	157,500人
効 果	地域商工業者の販売機会創出と認知度向上、地域の賑わい創出

(3) 雇用創出支援

①刈谷合同就職フェア

主 催	刈谷商工会議所・刈谷労働基準監督署・刈谷公共職業安定所
実施内容	働き方改革に取り組む事業所・外国人採用に意欲のある企業による「刈谷合同就職フェア」
開催時期	1月15日（水）13:00～16:00
出展企業	25社
来場者数	求職者 194人 採用数 4人
効 果	求職者と地元企業の交流による雇用機会創出

II. 地域経済の活性化に資する取組

【評価】

A	B	C	D
6	1	0	0

【委員のコメント】

・本年度は新型コロナウイルス感染防止という観点から開催中止となった取り組みが多かったが、次年度以降も継続開催を期待。

・地域の高校との説明会は中小企業には貴重な機会であり、今後も継続をお願いします。

・継続的に取り組めると良い。



②刈谷工業高等学校との連携による「企業合同説明会」

主 催	刈谷商工会議所・刈谷市雇用対策協議会
実施内容	刈谷工業高等学校の高校生・保護者向け企業合同説明会 対象：高校1・2年生とその保護者
開催時期	2月4日（火）・5日（水）15:00～17:00
参加人員	高校生66名 保護者22名 計88名
参加企業	26社
効 果	若手人材と地元企業の交流による雇用機会創出



③知立高等学校との連携による「企業合同説明会」

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一斉休校となり開催中止。

主 催	刈谷商工会議所・刈谷市雇用対策協議会
実施内容	知立高等学校の高校生・先生向け企業合同説明会 対象：就職希望の高校生（2年生）と先生
開催時期	3月17日（火）
参加企業	27社
効 果	若手人材と地元企業の交流による雇用機会創出

④高浜高等学校との連携による「企業合同説明会」

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一斉休校となり開催中止。

主 催	刈谷商工会議所・刈谷市雇用対策協議会
実施内容	高浜高等学校の高校生・先生向け企業合同説明会 対象：普通科・福祉科の高校生（1年生）と先生
開催時期	3月12日（木）
参加企業	22社
効 果	若手人材と地元企業の交流による雇用機会創出

Ⅲ. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

西三河地区商工会議所中小企業相談所長会議の開催

開催時期	4月22日 於：安城商工会議所 7月16日 於：西尾商工会議所 12月6日 於：岡崎商工会議所
参加機関	西三河地区商工会議所（岡崎、豊田、刈谷、碧南、安城、西尾）
開催内容	各商工会議所が持っている事業計画策定や計画経営を実践している事業所等、経営支援事業の成功事例の情報共有を行う。
活用方法	情報交換した内容を持ち帰り、管内の経営支援事業に活かす。

2. 経営指導員等の資質向上に関すること

①研修会・セミナーへの参加

開催日	内容	研修テーマ	参加者
6月3日	経営指導員等 応用研修(一般)	県の中小企業施策等	市古 由美 安達 拓也 大毛 陽介
6月10日			杉浦 恭章 伊藤 良太
6月25日	経営指導員等応 用研修(特別A)	軽減税率制度及び適格請 求書保存方式等	大毛 陽介
6月27日			杉浦 恭章 伊藤 良太
7月10日	経営指導員等応 用研修(特別B)	I T 支援や補助金等の施 策動向等	杉浦 恭章 伊藤 良太
7月12日			安達 拓也 大毛 陽介
7月23日	経営指導員等応 用研修(特別C)	事業承継税制等	市古 由美 杉浦 恭章 伊藤 良太
7月26日			安達 拓也 大毛 陽介
8月5日	経営指導員等応 用研修(特別D)	愛知県信用保証協会等	市古 由美 安達 拓也
8月30日	経営指導員等応 用研修(特別E)	外国人雇用等	伊藤 良太 大毛 陽介
9月26日	西三河地区経営 指導員等研修会	中小企業へのI T 利活用 支援	市古 由美 杉浦 恭章 安達 拓也
10月28日	補助員研修	支援者としてみる「会計」 と「決算書」	山田 とも子 岡村 真由美
11月22日	経営指導員等向 けブロック別研 修会	消費税軽減税率制度(経理 処理対策)	大毛 陽介 山田 とも子 石川 みゆき
5月22日・ 29日・6月 5日	経営指導員等専 門研修	I T 化促進支援の進め方	安達 拓也 大毛 陽介
7月31日～ 8月2日		ビジネスプラン策定の実 践術	杉浦 恭章
9月11日～ 9月13日		相談能力強化のための図 解思考	安達 拓也
10月9日～ 10月11日		労務リスク管理支援の進 め方	市古 由美
1月27日～ 1月31日		C F 経営と利益・資金計画 策定支援	伊藤 良太

Ⅲ. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

【評価】

A	B	C	D
6	1	0	0

【委員のコメント】

・経営指導員の資質向上への取り組みは素晴らしい。参加で得た知識・情報の水平展開への取り組み(会議所内での勉強会開催など)を積極的に実施したい。

・幅広い視点で指導できるよう資質向上を図ることは重要。継続的に。

②法定経営指導員

令和元年9月25日のガイドライン一部改正に伴い、経営発達支援計画の記載事項のうち、「実施体制」については、従来、経営発達支援事業の実施に携わる体制を記載することとしていましたが、今後は、いわゆる「法定経営指導員」が計画の作成から実施段階に至るまで、きちんと関与することが必須となりました。「法定経営指導員」とは小規模事業者の経営に係る指導を行う者であって、効果的かつ適切な指導を行うために必要な知識及び経験を有する経営指導員をいいます。

効果的かつ適切な指導を行うために必要な知識は、「中小企業診断基礎1・2」、「行政事務に関する基礎的知識」、「災害・リスクマネジメント知識」の3項目あり、5名に経営指導員（市古・杉浦・安達・伊藤・大毛）それぞれWEB研修を受講後、修了テストを受講し、修了証を得た。

3. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること 経営発達支援事業評価委員会の開催

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会議の開催は中止し、メール・電話で事業評価を実施。

開催日時	3月13日（金）10:00～12:00（中止）
開催場所	刈谷商工会議所 特別会議室
構成メンバー	【事業評価委員長】 刈谷商工会議所 副会頭 鈴木 豊 【支援機関】 ①刈谷市商工業振興課係長 川口 泰治 刈谷市商工業振興課主査 澤田 知秀 ②日本政策金融公庫岡崎支店課長 福山 敏一 日本政策金融公庫岡崎支店課長代理 足立 佳隆 ③愛知県保証協会経営支援部次長 鈴木 康司 ④あいち産業科学技術センター産業技術センター 主任研究員 太田 幸伸 【中小企業診断士】 刈谷モノづくり大学教授 ①中小企業診断士 神谷 正仁 ②中小企業診断士 照井 清一